

2017 年度 活動報告 No.2 (7月～10月)



◆納涼会：7月22日（土）18：30～21：00



会場は甲府駅南口から徒歩3分の和風居酒屋、参加者は新会員1名を含む11名でした。内、男性は黒瀬さん1名だけ。「え、僕だけ？」と寂しがっていました。次回には多くの男性陣の参加を期待しています。

なお、会費はコース料理で2,700円、飲み物は各自申告制です。実は、車の運転のためという理由も含め、飲まない派が優勢でした。

★話題を2つ紹介します。会場は居酒屋ですが、けっこう真面目な話をしているんです。

(1) 事務局から、「子供に関わる相談や申し込みが増えている」との報告がありました。

5年前から新田小学校の学習支援に参加しています。また、学校の学習支援員を通じて、夏休みや冬休みの空白期間の支援依頼がある場合もあります。しかし、ある時、手軽な家庭教師を期待されているのではないかと疑われるケースがありました。その時は、家庭とも話し合い、日本語支援に絞って継続しました。一方で、小学生の高学年になると日本語と教科の線引きが難しい場合があります。例えば、算数の計算式は解くことができても、日本語の文章が読めないため、計算式に至らないということもあります。また、日常生活では不自由のない日本語を話していても、教科の日本語力とは大きな隔たりがあるのが一般的です。

参加会員の意向としては、依頼があった場合は可能な限り支援したいが、依頼内容によっては限定的になる場合もあるということになりました。



(2) 日本語能力試験を支援する時、どんな準備が必要か？

「日本語能力試験を受験したいという受講者がいるのだが、経験がないので不安、学習したい」という発言がきっかけでした。今年 7 月の受験を支援した参加者も複数いて、その場でアドバイスをしてくれました。あわせて、有志で勉強会がしたいとの声もあがりました。



* アドバイスより

- ・テキストは多種類発売されているので、書店で実際に見比べてみると良い。
- ・1 週間に 1 回の支援ではできることが限られているので、テキスト選びに注意が必要。
- ・非漢字圏の受験者の場合、読解問題が難しいという声が多い。試験時間内に問題文が読み切れないという切実な悩みをよく聞く。支援者としては事前に読解問題を解いてみる方が良い。文章に違和感があったり、回答を選びにくかったり、説明がしにくい場合もあるためだ。

★参加者の「一人一言」



㊤新田小学校の支援が 5 年目になる。子供の学年が上がるにつれて、日本語だけでなく教科の指導が求められているように感じる。

㊤初めての受講者が決まった。ただし、仕事が忙しくなったとのことで、開始が遅れている。始まるまで不安な気持ちが続いている。

㊤日本語能力試験 N 1 を目指す方を、週 2 回のペースで支援している。エステシャンとしての資格取得も目指す頑張り屋さんなので、精一杯応援したい。

㊤面談のため電話したところ、意志疎通が難しく、受講者宅への道順を聞くのに難儀した。

㊤会員になって 3 年が過ぎた。初めての受講者を 3 年間担当し終了した今は一息ついている状態。全てが手探り状態であった。ただ、受講者が 2 時間を越えて滞在することも多く、楽しんでもらえたのではないかと思っている。

㊦ 日本国籍を取りたいと学んでいる方を担当している。

㊧ 過去に担当した受講者と定期的に連絡をとり、お茶会を楽しんでいる。

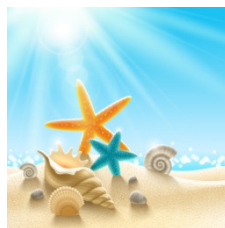
㊨ 同じ受講者を 5 年間継続して担当している。先方からは何も言われませんが、マンネリになっているのではないかと危惧している。

㊩ インドから来た 2 名（女、男各 1 名）を担当している。女性の話から、インド社会の発展や女性の社会進出のさまがうかがえる。男性はベジタリアン。何と、彼の会社では社員 6 名のために、インドから専属のコックさんが来日しているとのこと。

㊪ 友人の息子さんがベトナム人女性と結婚しハノイに住んでいる。10 歳と 5 歳の子供がいる。ベトナムの夏休みは 5 月末に始まる。夏休みになると、子供たちと母親は即来日。上の子供は日本の小学校に転入、日本の夏休みが始まるまでの約 2 ヶ月通学する。

友人によると、1 年生、2 年生のうちは毎日ルンルンだった。しかし 3 年生になると、なにせ 1 年間の内 10 か月は不在なのだから、知らない漢字が格段に増えてくる。4 年生となった今年は××だらけの漢字テストを前に顔が曇りがちであったそうだ。ただし、友達関係は楽しくて、「来年も行く」と言っているそうだ。

改めて、非漢字圏の子供にとって、漢字は大いなる難問だと思います。なお、ベトナムの小学校は日本よりコンピューターの導入が早いそうです。また、小学生でも落第制度があるそうです。



* 会員交流会は年 2 回、納涼会（7 月）と新年会（1 月）を予定しています。

支援の話はもちろんのこと、趣味に食べ物に旅行にと、話題はどんどん広がります。なお、今回は話がはずんで写真を撮り忘れました。 （報告：稲谷）

★新年会の予告！ 2018 年 1 月 17 日（水）11：30～ 湯村温泉・常磐ホテル



◆南アルプス市「日本語サロン」学習会

日本語能力試験とは？

* 10月21日（土）13：30～16：00

南アルプス市国際交流協会に所属し、日本語支援の活動をされている「日本語サロン」の皆さんとともに、日本語能力試験について共に学ぶ学習会が実現しました。

初めて支援する方を対象に、能力試験の基礎知識として、「①日本語能力試験とは？ ②レベル別の問題例 ③テキスト紹介 ④支援例紹介」の順に、随時質問を受けながら進行了しました。

参加者は「日本語サロン」から12名、本会は進行役3名を含む4名でした。

実は、この学習会は納涼会での小林（利）さんの「日本語能力試験を受験したいという受講者がいるのだが、経験がないので不安、学習したい」という一言が始まりでした。その後、小林さんを含む会員4名が所属する南アルプス市国際交流協会とも相談し、学習会が実現したものです。このご縁が続くことを願っています。



（写真：小林利、報告：稲谷）